

各種データDATA

表1) 全国の年度別廃校発生数

年度	21	22	23	24	25	計
全国	109	77	58	62	32	388
県内	0	2	3	0	1	6

【参照】 文部科学省「廃校施設状況実態調査」
県統計調査課「学校基本調査」

表2) 市内小中学生の児童・生徒数の推移

年度	22	23	24	25	26	27	28
児童 生徒数	4003	3925	3888	3854	3808	3730	3641

【参照】 市教育委員会調査

表3) 市内高校の生徒数の推移

	小林高校	小林秀峰高校	小林西高校
13	303	453	240
14	279	455	215
15	284	458	200
16	264	384	178
17	257	382	161
18	243	339	146
19	223	341	118
20	225	324	127
21	226	313	156
22	236	307	164
23	205	287	119
24	185	302	123
25	224	230	97
26	187	233	115
27	186	216	89
28	171	-	77

【小林高校】、「小林秀峰高校」、「小林西高校」提供

※小林高校と小林西高校は入学者数、小林秀峰高校は卒業生数

※小林秀峰高校の生徒数は、小林工業高校、小林商業高校と高原高校の合算値

林西高校は、入学者数がそれぞれ、15年で56割、68割減少。小林秀峰高校は卒業生数が、14年で53割減少しています（表3参照）。
このまま、生徒数が減少し続けると再び地域から高校がなくなってしまうかもしれません。

学科の廃止は子どもの未来に影響を与える

学科や学級数が減ること、子どもたちにとって、大きな問題です。
小林工業高校には建築科がありましたが、統合と同時に廃止になりました。そのため、今、高校で建築を学びたい子どもたちは、市外の高校に行かなければなりません。
さらに、各校とも定員割れしている学科があり、このままだと、廃止になる恐れもあります。
子どもたちにとって高

校の選択は、その後の人生を決める大きな分岐点。学科の廃止は、子どもたちの未来へ大きな影響を与えます。
生徒たちの姿が地域を明るくしている
生徒数は減っていますが、各校とも伝統を重ね年々、魅力あふれる学校になっています。
進学や就職などの実績はもちろんですが、小林

高校の駅伝部やバスケットボール部、小林秀峰高校の団体操縦部やハンドボール部、小林西高校の女子ソフトボール部や野球部など、全国で活躍する生徒たちも多くいます。その姿を見て、元気や感動をもらった人も多いでしょう。
また、通学などで生徒たちが道を歩く姿は、それだけでまちの雰囲気をもっと明るくしているのではないのでしょうか。

地域・子どものために市内の高校を守る
地域の人の多くは、市内の高校の卒業生で、母校は思い出の場所。地域の人のためにも、子どもたちの将来の夢に繋がる道を守るためにも、この3校は守っていかねばなりません。
市内の高校の魅力をも一度考えるきっかけとして、7月、8月号では各校の紹介をします。



【2号連載特集】

地域にある

高校の魅力。

全国的に、少子化などで生徒数は年々減少し、高校の廃校や学科の廃止などが増えています。小林も例外ではなく、小林工業高校と小林商業高校が9年前に統合しました。高校は、義務教育を終えた子どもたちが、未来への第一歩を踏み出す場所。中学校までとは違い、より専門性の高い学科が設けられています。市内にある3つの高校でも特色のある魅力的なカリキュラムが用意されています。地域の高校を守るためにも7月・8月号の連載で市内3校の魅力を再確認します。

少子化などの影響で5年間338校が廃校

少子化などの影響で、毎年、全国各地で廃校になる高校があります。
文部科学省と県教育委員会の調査によると平成21年から平成25年のわずか5年間で、全国では338校、県内でも6校が廃校になっています（表

1参照）。

小林でも市内の小中学生の児童・生徒数を見ると、平成22年度から6年間で368人減少（表2参照）。少子化は確実に進んでおり、市内高校への進学者は少なくなっています。

このような影響で、平成19年に小林工業高校と小林商業高校が統合。平成23年

には高原高校が統合しており、西諸地域から2つの高校がなくなりました。
高校の廃校は私たちにとっても身近な問題となっています。

各校とも生徒数は減少 統廃校になる恐れも

実際に市内3校の状況を見ると、小林高校と小

地域にある高校の魅力。

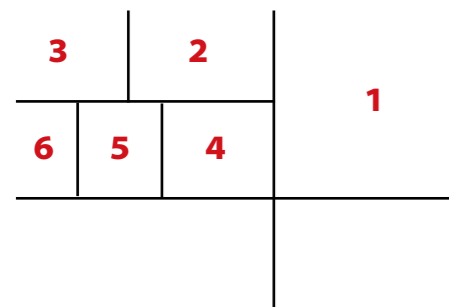


Photo1 真剣な眼差しで授業に取り組む生徒ら。2 授業ではグループで生徒同士が話し合いながら答えを見つける場面も。3 キャリア教育で市立病院を訪問。大学や研究所、企業で見学・体験することで、将来への興味関心が深まる機会を設け、進路目標や目的意識を明確にしていきます。4 探究科学コースでは留学生を招いています。留学生とのコミュニケーションで実践的な語学力や異文化への理解を深め、英語によるプレゼンテーションやディベート大会にも挑戦します。5 9月に3日間行われる「秋桜祭」。体育から文化まで多くの生徒が活躍します。6 同校には県内唯一の体育コースもあります。駅伝やバスケットなど全国で活躍する生徒が在籍しています。

Interview 生徒の声



探究科学コース2年 生徒会長
そのだ りき
園田 理貴 さん
(三松中出身)

**先生の熱心な指導で
勉強にやる気が出る**

どの教科でも先生が熱心に指導してくれ、勉強に前向きに取り組むことができます。課題などで予習、授業、復習のサイクルもしっかりつくっていて、成績も伸びています。これからも、目標とする大学に進学できるように自分を高めていきます。また、探究科学コースでは大学や企業の訪問を行っています。訪問後には、学んだことをまとめプレゼンテーションを行っており、将来社会に出たときに使える力が身につけていると感じています。

Interview 保護者の声



PTA 会長
まつき よういち
松木 洋一 さん

**子どもが前向きに
勉強に取り組んでいる**

現在、高校3年生の息子が小林高校に通っています。今の小林高校は生徒の自主性を尊重し、のびのびと勉学に励んでいるようです。その校風のおかげか、息子も勉強に前向きに取り組んでいます。また、私が学校に行くと生徒たちは、気持ちの良いあいさつをしてくれます。勉強以外の礼儀も高校で学んでくれているように思えます。先生たちの対応も丁寧で、気軽に子どもの相談に乗っていただき、小林高校に進学させて良かったと満足しています。



96年続く伝統の進学校

小林高等学校

校訓の「立志鍛練」のもと、高い志を抱き、挑戦するたくましさと思いやりの溢れる爽やかな若者の育成に努めています。
生徒たちは、学業に部活と文武両道に励み、
今年は、一橋大や九州大など63人が国公立大学に進学しました。

**学習の意欲高める
アクティブラーニング**

小林高校では、伝統的な宿題などによる課題学習に加え、生徒の主体的な学習を促す「アクティブラーニング」を実践しています。これは、今までの教師から生徒への一方的な講義ではなく、グループやペアで生徒同士が学び合い、互いに高めていく学習方法です。強制的にやらされる学習ではなく、主体的な学習を推進することで、さらなる学力向上を目指します。

**難関大学進学を目指す
探究科学コース**

3年前に新設された「探究科学コース」。将来世界で活躍できる人材の育成を目指すハイレベルなコースで、特色は3つあります。1つ目は難関大学合格を目指すための授業を行う「ハイレベル学習」。2つ目は「キャリア教育」。勉強の意欲につながる

る、将来の目標や目的設定を明確にするため、県内外の大学や企業の見学・インターンシップを行います。3つ目は、「探究活動」。

大学、企業、地域と連携し、地域活性化への取り組みや、最先端の科学など生徒が設定したテーマを探究するプログラムです。

これら3つのカリキュラムをベースにし、自然科学（理系）から人文科学・社会科学（文系）まで幅広い学習を行います。

**進路満足度県内2位
丁寧な指導も魅力**

また、小林高校は、昨年の県内公立高校卒業生へのアンケート調査で、進路指導の満足度が県内2位になりました。

生徒一人一人の習熟度に合わせた指導や少人数指導を取り入れ、遅れがちな生徒にもしっかりサポートを行います。教師の丁寧な指導も魅力のひとつです。